



# 令和8年度 静岡市立高部こども園グランドデザイン



## <地域・園の実態>

- ・園の周辺は住宅街であり、園庭前には幹線道路(通称北街道)が走っている
- ・少し足を延ばせば山、田畑、公園などの自然が残っている
- ・1号児、2号児の人数はほぼ同数となり、園児の在園時間が長くなっている
- ・地域の有識者や協力者を得て、畑での栽培活動や園内の自然物などを使っての直接体験が盛んである
- ・近隣園、小中学校、高齢者との交流や地域の人・こととの関わりに積極的である

## <子どもの実態>

- ・温和で優しく、穏やかな子が多い
- ・異年齢児や友達との関わりを喜び、戸外で活発に遊ぶ
- ・園内の恵まれた自然環境が生活の一部となり、興味をもって親しんでいる
- ・人に親しみやすい一方でかわりに不器用さが見られる

園目標:「心豊かで たくましい たかべっこ」

重点目標:「夢中になって遊ぶ」

静岡市教育振興基本計画における目指す子どもの姿  
「たくましく しなやかな 子どもたち」

## めざす子どもの姿

知 意欲をもつ子

徳 心と体を動かして遊ぶ子

体 生活習慣を身に付ける子

## <六中学区構想に基づくこども園での取り組み>

- ・時を守り…時間を守ろう
- ・場を清め…片付けよう
- ・礼を正す…進んであいさつ

高部こども園のめざす  
保育者の姿

保護者と共に  
地域と共に

- ・互いに信頼し協力する保育者集団

- ・子どもと一緒に子どもの世界を楽しむ保育者
- ・子どもの遊びを価値付けし学びを支える保育者

- ・高部こども園に関心を寄せていただく

## 高部こども園のよさを活かした教育活動

心動かす直接体験や発達をおさえた環境構成	安心と挑戦が循環する教育・保育	豊かな自然体験 ～ESDとの関わりを捉えて～	地域・保護者との連携
<ul style="list-style-type: none"> <li>・目、手、体、足など全身を使って遊び込める環境の構成</li> <li>・子どもの心の動きを敏感に受け止め共感する、柔軟で温かい保育者の心もちの育成</li> <li>・発達を押さえた教材やかかわり方を遊びと生活の中で見出す振り返り</li> <li>○興味関心や発達に合わせた「もっとやりたい」環境を実践しながら構成する</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・子どもの権利と尊厳を守る</li> <li>・基本的な生活習慣の定着</li> <li>・安心と挑戦が繰り返される遊びの保障(よさと可能性で捉えた子ども理解と遊びの中の学びの芽の把握)</li> <li>・保育者自身が安心・安全を感じる同僚性の構築</li> <li>○子どもも保育者もウェルビーイングを高め、成長する集団を目指す</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・園庭での「げんきたんぼカリキュラム」の実施(代かき、田植え、稲刈り、脱穀、炊飯、藁の活用など)</li> <li>・ミニ塩田川での気付き</li> <li>・園内での畑整備と野菜作りによる食育活動</li> <li>・地域資源の価値づけと関連した体験</li> <li>○収穫の喜びや感謝の気持ちを育み、生態系や食育、生物多様性などへの感覚的な気付きを養う</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・畑の先生、陽光園、JA、子育てトークの会等地域の人との交流機会の実施</li> <li>・小学校、近隣園との交流機会をもつ(1年生体験授業、近隣園交流、高部小からの配食給食)</li> <li>・参観会や参加会で保護者をつなぎ、子どもを育てていく仲間関係作りや HSW の紹介、活用</li> <li>○様々な人と関わり愛されている実感や地域への愛着を育む</li> </ul>

## <研修テーマ>

『 夢中になって遊ぶ姿を支えるための環境構成(コト・ひと・もの) 』

## <学年目標>

- ・3歳児 …「安心して自分の気持ちを表しながら好きな遊びを繰り返し楽しむ」
- ・4歳児 …「友達の思いや考えに気付きながら一緒に遊ぶ楽しさを味わう」
- ・5歳児 …「目的をもち友達と協力しながら遊びを進め、満足感や充実感を味わう」